

～八ヶ岳歩こう会創立20周年記念～
甲州街道ウォーク

コースマップ

第9回・鶴瀬宿～石和宿
2019年3月27日(水)

- ・距離 約16km
- ・解散 石和駅 15時30分頃
- ・担当者 大嶋俊壽
風路周平
吉田三男
飯野健彦

- ・次回開催 第10回 石和宿～葦崎宿
- ・2019年4月24日(水)
- ・距離 約22km
- ・集合 石和駅(午前9時30分)

◎柏尾古戦場跡

明治元年(1868)3月6日、近藤勇らの新撰組を中心とする甲陽鎮撫隊と板垣退助率いる西軍との間で戦闘が行われた場所。柏尾橋を挟んで両軍が大砲を撃ち合い、近藤勇は江戸へ退却した。現在は明治・大正・昭和の時代に架かっていった橋の入り口が再現されている。

◎大善寺

創建は奈良時代の養老2年(718)僧行基によると伝えられている。その後聖武天皇により鎮護国家の寺として勅願を賜るが、安元2年(1176)と文永7年(1270)に災禍に遭った。弘安9年(1286)北条貞時が後宇多天皇の勅を奉じ、甲信2国に対して棟別十文銭を徴収。文明5年(1473)武田信春によって奉納された。厨子(国宝)には、サクラー一本造である薬師三尊(国重要文化財)が安置されている。山門は寛政年間(1789～1801)に再建。その他に鵜口、太刀(ともに県指定文化財)、書院の北には江戸時代初期の作底である池泉観賞式蓬莱庭園がある。

◎旧田中銀行社屋

国登録有形文化財。藤村式建築の流れをくむ。明治30年代前半に勝沼郵便電信局舎として建てられた。伝承を持つ入母屋造り、瓦葺、二階建ての建物で、大正9年より昭和7年ごろまで山梨田中銀行の社屋として利用された。

◎笛吹権三郎の像

むかし、ここ芹沢の里に大変親孝行の権三郎という少年が母親と住んでいた。京より父を捜しにこの地まで来たが、既に父は亡く村人とともに暮らしていた。人々は笛の上手なこの少年を「笛吹権三郎」と呼んでいた。ある年の7月、大洪水に遭い、権三郎は自力で助かったが、母は流されて行方不明となってしまふ。母の好きだった篠笛を吹きながら川を上り下りして捜したが見つからず、いつしか権三郎も疲れ果て川に落ち下流の小松村まで流され、近くの長慶寺に手厚く葬られた。その後、川の音が笛のように聞こえることから、笛吹川というようになった。

